

●生活・法律相談は

◆市議会議員

いぬい紳一郎 (7159)2773

◆市議会議員

小田桐たかし (7154)0878

日本共産党中央委員会 <http://www.jcp.or.jp/>

日本共産党流山市議団 <http://www.nagareyama-jcp.jp/>

◆市議会議員

徳増きよ子 (7148)6871

◆市議会議員

植田 和子 (7154)0288

●サラ金、交通事故、遺産相続、借地借家、教育、医療、年金、住宅、パート労働、介護、その他、困ったこと、わからないこと、どんなことでも気軽ににおよせ下さい。

# 流山民報

2013年5月号

第176号

編集発行人

日本共産党流山市議団

流山市加4-1688

TEL/FAX (7157) 6140

E-Mail : kfbkd645@ybb.ne.jp

# 小中併設校の総事業費127億円!



おおたかの森地区小中併設の完成イメージ図



おおたかの森地区に計画されている小中併設校。校舎建設費73億円は、柏市やつくば市の新設校、また小山小学校建設費と

普通なら20億円、30億円なのにその3倍、全国的にも最大規模

## おおたかの森地区でアンケート活動

「何故そんなににかかるの?」「どうしてそんなに大きい?」「なんでそんなに急ぐの?」

比較しても3倍近い経費。用地費を含めた事業費総額127億円は全国的にも最大規模といえます。

「学校はほしい、でも小中併設校は心配です」

日本共産党がおおたかの森地区でおこなったアンケート調査でも「どうして1500人なんて規模にするの?」「127億円?どうしてそんなににかかるの?」という声が多く聞かれます。

「あなたこの地域はいいわね」とまた言われる。学校格差

が広がるようなことは望みません。「1500人もいて、子ども一人ひとりに目が行き届くのか、心配」との声も。市内から転居したお母さんからは、「小山小は前の学校に比べ環境が違いすぎる。老朽校舎もすっかりやるべきでは」と指摘されます。

住民合意もなくあまりにも拙速

小中併設校の学区内ですら疑問・不安が相次ぎ、それ以外の地域では「よく知らない」というのが多くの市民の声です。月21日「広報ながれやま」での

計画公表から3ヶ月で、H25年度予算に54億円の事業費を計上。住民合意もないままに事業化とは、あまりにも拙速です。

6月議会での契約承認はありえませんか

3月議会で承認された予算はほとんどが用地購入費。6月議会には、校舎建設にかかわる契約の是非が問われることとなります。拙速な事業化は大問題です。

「千円・百円単位で学校現場の予算が削減され続けているのに、一方で127億円?」:市内の学校関係者も漏らしています。

## 北朝鮮の3度目の核実験に抗議する決議可決

## 日本共産党が原案を提案

3月議会最終日、2月に核実験を強行した北朝鮮に抗議し、国連をはじめ関係各国との連携した対応を政府に求める決議を全会一致で可決しました。

やり方を厳しく批判すると同時に、戦争を起こさせないためにあらゆる外交努力をつくすこと。米国や韓国など関係国も北朝鮮との対話を切り開くために懸命の努力をしています。

改悪に踏み込もうとしています。憲法改定のハードルを低くし、憲法9条を変え国防軍を創設し、「戦争する国」にしようと狙っています。これは、極東地域の軍事的緊張を高めるものです。日本共産党は憲法9条を守るために全力をつくします。

## 憲法9条改悪いっていい?!

大事なことは、北朝鮮の

安倍自公政権は憲法9条

## 小中併設校建設予算を含んだH25年度予算への各議員の態度

会派名	日本共産党	流政会	誠和会	みんな・一心	公明党		
議案名	植田 和子	徳増代子 小田桐 仙 乾 紳一郎 笠原 久恵	森 亮二 宮田 一成 山崎 専司 松野 豊	坂巻 忠志 中村 彰男	菅野 浩考 伊藤 實	加藤 啓子 西川 誠之 酒井 睦夫	藤井 俊行 齊藤 真理 松尾 澄子 秋間 高義 田中 人実
平成25年度流山市一般会計予算	多数可決	○	○	○	○	○	○

※議長は表決に参加しない。

※表の見方 ○:賛成 ×:反対 -:欠席

# 日本共産党

す。子どもたちが通う『学校』建設だからこそ、地域にどんな学校が必要なのかを住民が決めていく―だからこそ「合意を大切にしよう」の世論と運動を広げましょう。

# みなさんと力あわせ 粘り強く要求実現

**日本共産党**



市議会議員  
いぬい 紳一郎



市議会議員  
小田 桐たかし



市議会議員  
徳増 きよ子



市議会議員  
植田 和子

## 予算凍結！市長異例の陳謝

### 先行き不透明な 総合体育館建替え

建設費45億円の総合体育館建替え事業。3月議会で各党から様々な意見が…。いっぽうで市長は、H25年度予算に約3億円の建設費を計上。予算は可決されたものの、議会と十分協議せず計画をすすめたと陳謝。予算執行は当面おこなわないと表明しました。前代未聞の出来事です。日本共産党は、市の建替え計画の規模を見直すよう提案。今後、特別委員会が設置され、検討されることになりました。

「市民の賛同は得られていない」と市長も答えざるをえない中で、小中併設校と総合体育館建替えが予算化され、予算成立をめぐってきびしい攻防が伝えられた3月議会。日本共産党は、最後まで市民の立場でスジを通して反対を貫きました。市民の願い実現でも、様々な前進がみられました。

## くらし 応援

### 「保護が必要な人には受けてもらう」と答弁 就学援助の手続きを改善

生活保護基準以下の生活をして世帯で保護を利用しているのは1割。残りの9割が放置されています。憲法25条を体現したのが生活保護法であり、生きるための権利の社会保障です。担当部長は「真に保護を必要とする方には受けてもらう」と答弁しました。

就学援助制度の案内パンフレットがわかりにくく「自分たちが受けられるか判らない」との声があり、改善を求めました。今年4月から世帯の収入基準などを示した案内に変更。ページに簡略化し、わかりやすくなりました。

## 子育て 支援

### 通院で小学校6年生まで 子どもの医療費助成拡充へ

今年12月頃から、通院の医療費助成対象年齢が、小学3年生から6年生に拡大（入院は中学3年生まで）されます。「それは良かった」お母さんや医師から喜び

の声が届いています。市民とともにわが党も『子育てするなら流山』をめざし「入院・通院とも中3までに」と何度も実施を迫ってきました。

また、保育料の減免制度の周知徹底や、学童保育の相談窓口の明確化及び小学校の学童拡充に力を尽くしました。

## 教育・ 文化

### 全校に特別支援学級の設置約束 文化会館駐車場の有料化廃止へ

知的障害、情緒不安定などの児童生徒のための特別支援学級。流山市は近隣市に比べて大きく遅れていました。「どこの学区にも設置を」と保護者の願いを受け、日本共産党は全校への設置を粘り強く要求。3月議会では、「全校に計画的に設置する」との答弁を引き出しました。

文化会館の駐車場が有料化されてから5年。経費に對して収入が追いつかず赤字垂れ流し、さらに、負担増で併設する中央公民館の利用率は大きく下がりました。日本共産党は有料化後も市民の声や収支の状況を示して「市長の失政」と厳しく批判。無料に戻すよう粘り強く求め続けました。その結果、とうとう3月議会です。副市長が「10月から無料にもどす」と表明したのです。

## 地域 経済

### 市内産業活性化への 新たな探求を

流山市は消費人口も10万を超えるなど、経済活性化の条件があります。フランチャイズ店の増加など流山市の産業構造がどう変化してきたかを把握することが重要です。そして、市内にどのような経営資源があるのかを見直し、それを活かすこと、少なくとも地域経済振興審議会を開催するなど経済活性化への努力をつよめるべきだと提案しました。当局は、審議会委員の新たな委嘱を含め、審議会への諮問など、地域経済活性化へ努力を強化することを約束しました。

## 「おおたかの森ばかりでいいの...」

### あれもこれも、開発優先のH25年度予算

約500億円という過去最大規模となったH25年度予算。その実態は借金的大幅増です。しかも、78億円の借金の61%がTX沿線開発とその関連事業です。身近な公園や街路樹に關係する整備保全費約6億円も、その75%がTX沿線開発地域となっており、「おおたかの森ばかり」との声が聞かれるのも当然です。

さらに国の緊急経済対策も、その8割が用地費で消え、地域経済の新規振興策も市民負担軽減もほぼゼロ回答。災害時の食料備蓄は年度末で47%（H31年度末で55%）と低水準です。

市民や地域の隅々に目を行き届かせ、福祉と防災の街づくりへ力をあつめましょう。

## 身近な要求実現

難聴者のための議会傍聴席に磁気ループを設置  
いぬい 紳一郎



大混雑、小山小学校校区の投票所拡充へ  
小田 桐たかし



東小の通学路、歩道も道路も広がります  
徳増 きよ子



東深井小に市内初の難聴特別教室が実現  
植田 和子

